

評議会だより

第四九一回評議会

平成八年七月十六日(火)

☆(新評議員の紹介)

歯学部 教授 前田 憲彦  
歯学部附属病院教授 河原 道夫  
国際協力研究科教授 村上 誠

☆(教員選考報告)

医学部  
講師 中野 賢輔(医学科眼科学)  
歯学部  
教授 岡本 哲治(歯学科口腔外科第二)

歯学部附属病院

講師 福田登美子(歯科放射線科)

生物生産学部

教授 藤田 正範(生物情報機能学)

原爆放射能医学研究所

助教授 達家 雅明(放射線応答研究分野)

☆(報告)

- 一、六月十九日(水)学士会館において開催された国立大学長会議の概要について報告があった。
  - 二、六月十八日(火)・十九日(水)学士会館において開催された国立大学協会第九八回総会の概要について報告があった。
  - 三、教育学部と中華人民共和国上海体育学院との間の学術・教育交流に関する協定の締結について報告があった。
- ☆(議事)
- 一、広島大学外国語教育研究センター規程の制定について  
各部署で検討の上、次回の定例評議会に諮ることとした。
  - 二、広島大学情報教育研究センター規程の制定について  
各部署で検討の上、次回の定例評議会に諮ることとした。

- 三、外国人教員の任期について  
原案のとおり任用期間を承認した。
- 四、短期学生交流に関する協定の締結について  
原案のとおり協定を締結することを承認した。

広島大学原爆死没者追悼式開かれる

広島に原爆が投下されて五十一年目、広島大学原爆死没者追悼の碑が建立されて二十二年目を迎える今年も、八月六日、広島大学旧大学会館中庭の「追悼之碑」の前で、原爆死没者追悼式が行われた。

追悼式には、遺族および同窓会代表ならびに学長をはじめ部局長等学内外の関係者約百名が参列し、二二八四名の霊前において、死没者名簿の奉納、黙とう、学長の式辞、献花および献水がそれぞれ執り行われた。

今年も、広島大学原爆死没者調査委員会の調査の結果、三十二名の死没者が判明し、「追悼之碑」に合祀した。

式典に引き続いて、追悼之碑そばの「広島文理科大学・広島高等師範学校、原爆死没者遺骨埋葬の地」の石碑に関係者が参列して、献花および献水を行った。



南方特別留学生「故ニック・ユソフ氏」の墓前供養

五十二年前の八月六日のあの日、当時、マレーシアから南方特別留学生として広島文理科大学に留学して被爆死した、故ニック・ユソフ氏の墓前供養が八月六日、五日市町の光禅寺で執り行われた(世話人 菅野義信名誉教授)。

あの日の焼けつくような太陽を思わせるなか、学生部長をはじめとする学内関係者、故ユソフ氏ゆかりのかたがたが参列し、当時の様子を語り合いながら故ユソフ氏の冥福を祈った。

第九回農場駅伝

六月二十二日梅雨晴れの日の夕方、附属農場の内外周をコースとする駅伝競走が生物生産学部長、農場長をはじめ選手、役員など約一二〇人の参加を得て行われた。一五・五キロを七区間で走るが、各コースともアップダウンが二回以上あり、さながらクロスカントリ・リレーのような駅伝である。

この駅伝は八六年に附属農場が移転するのを記念して福山市御幸町で行われたものを学部の移転後復活し、生物生産学部長主催の年中行事の一つとなっている。



工学部田澤教授、土木学会吉田賞を受賞

五月二十四日、工学部の田澤榮一(たざわ・えいち)教授が、論文「セメント系材料の自己収縮に及ぼす結合材および配合の影響」において、セメントの水和反応そのものに起因する自己収縮という現象が普通ポルトランドセメントを使用した低水セメント比のコンクリートならびに粉末度の高い高炉スラグ微粉末やシリカフュームを添加したコンクリートで顕著に現れることを世界に先駆けて明らかとしたことに対し、コンクリートのひび割れ制御に新しい視点を導入しコンクリート工学の進歩に大きく貢献したとして土木学会吉田賞を受賞した。